

生きがいを育む社会を創造する大学へ

OU

MASTER PLAN

2027

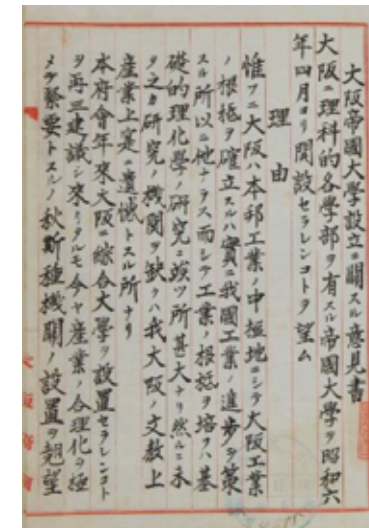


大阪大学の原点	01
「社会に貢献する大学」から「社会を創造する大学」へ	02
OUエコシステムによる好循環の構築	03
大阪大学の経営を織りなすしなやかで強靱な中長期計画	04
教育基盤(知性あふれる人材を持続的に育成する教育環境の整備)	05
Student Life-Cycle Supportによる自己実現の支援	06
研究基盤(自由な発想が芽吹く研究環境の構築)	07
日本財団・大阪大学 感染症対策プロジェクト	08
経営基盤(共創を中核に据えた経営体制の構築)	09
OUエコシステムに基づく共創活動のレベルアップ	10
大学が持続的に成長する自律的な経営体制の構築	11
コロナ新時代に対応する情報基盤整備(OU DXイニシアティブ)	12
オープンサイエンスを支える“DX in Research”	13
多様な人材が輝くキャンパスの実現(グローバル戦略)	14
多様な人材が輝くキャンパスの実現(Diversity & Inclusion)	15
自由な発想が芽吹く豊かな時間の創出	16
社会との共創を醸成し、活性化させるブランディングの展開	17
社会との共創によるグリーン・リカバリーの推進	18
2025年大阪・関西万博に向けた具体的な取組	19
社会を変革し、誰もが生きがいを感じられる社会へ	20

懐徳堂、適塾の市民精神を受け継ぎ、
地元大阪の政界・財界・市民の援助と強い熱意によって創立。
「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、
教育研究を通じて社会貢献を続けてきた。



大阪帝国大学創立案貴族院通過の夜の思出深き東京驛ホテルの乾盃
(昭和六年三月二十五日午前一時)



大阪府議会が1930年に
提出した大阪帝国大学
設立に関する意見書
(提供:毎日新聞社)

社会との共創による 生きがいを育む社会の創造

Creating a Society
where Each Member Leads
a Meaningful and Fulfilling Life

新たな社会で目指す大学像

大阪大学は、社会のステークホルダーと課題探索の段階から深く共創し、
生きがいを育む社会を創造する真のオピニオンリーダーを目指します。

個々人が社会で活躍できる寿命（社会寿命）を延伸させ、
あらゆる世代がその多様性を生かすことで社会を支え、
豊かで幸福な人生をすべての人が享受する社会を創造する。

それが、大阪大学の目指す理想の社会像です。

OUエコシステム

卓抜した教育研究成果を社会実装し、その中から生じる新たな課題を分析し、教育研究現場に還元する好循環を築き、一層大きな社会変革を生む新たな価値創造のシステム



多様性の尊重と豊かな時間により、自由な発想と高い知性を育む

OUマスタープラン2027の特徴

大学の中核となる教育、研究、経営を縦軸に、
これらを横断的に支える情報基盤整備、
グローバル戦略、Diversity & Inclusion、
豊かな時間の創出、ブランディングを
横軸として互いに編み合わせ、
網羅性と柔軟な発展性を合わせ持つ
中長期的なプランを策定。

教育 基盤

知性あふれる
人材の育成環境

未来社会の
あり方を創造し、
社会変革を導く
人材の育成

研究 基盤

自由な発想が
芽吹く環境

新たな社会の創造に
資する基礎研究の推進と
新たな価値の実装化への
先導

経営 基盤

共創を中核に
据えた経営

共創活動の
レベルアップと教育・研究・
業務システム改革による
経営基盤の充実

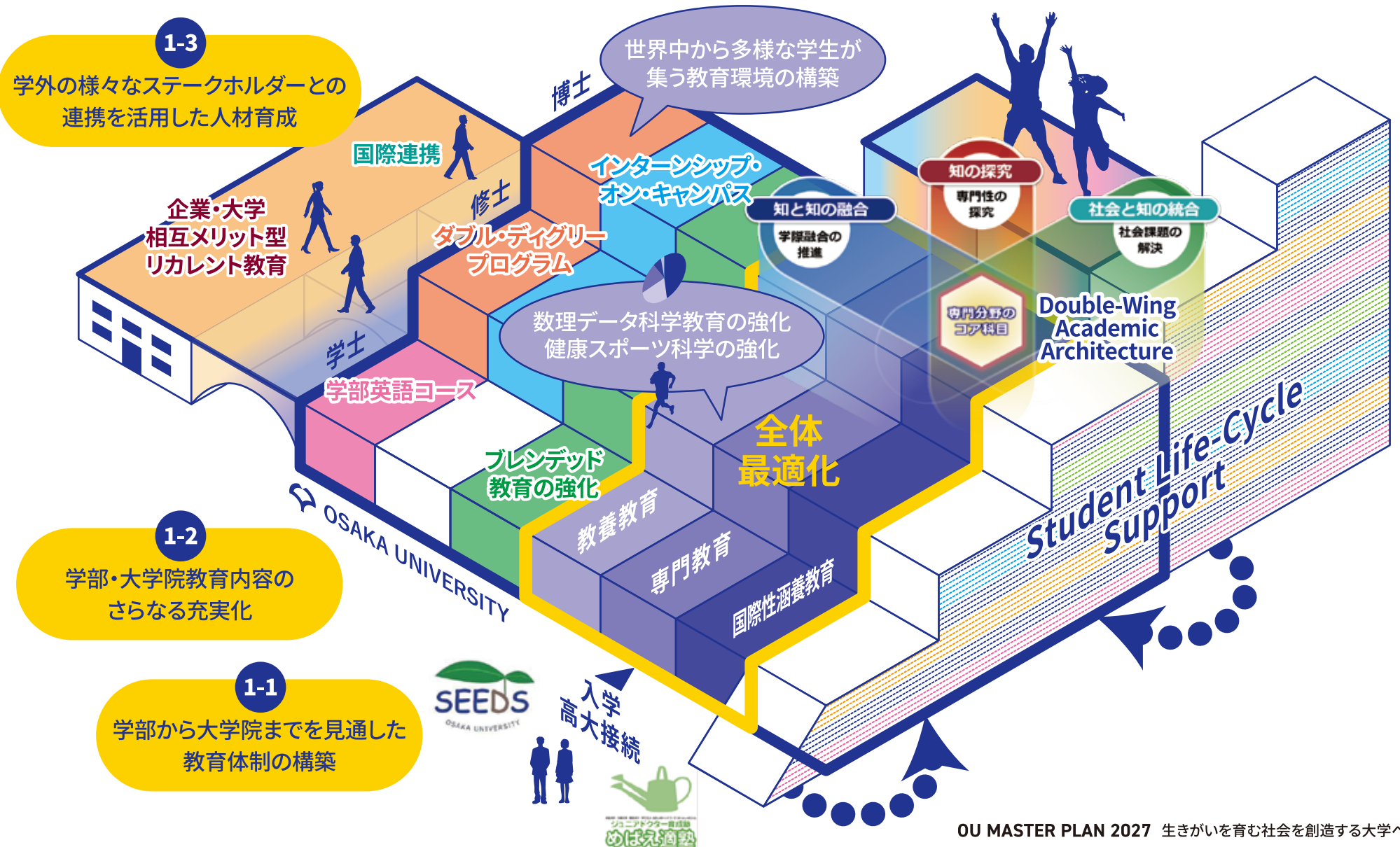
コロナ新時代に対応する情報基盤整備

多様な人材が輝くグローバル戦略とDiversity & Inclusionの深化

自由な発想が芽吹く豊かな時間の創出

社会との共創を醸成し、活性化させるブランディングの展開

未来の様々な社会課題に挑戦する力強い人材を輩出



学生のライフステージに合わせた教育・支援！



教育IR

DX in Education

本学の教育効果を積分値で可視化！

研究IR

入学前
(高校時)情報

入試情報

学務情報/
学修情報

学生
アンケート情報

キャリア
サポート情報

卒業・
修了後情報

すべての研究者が自由な発想に基づき生き生きと研究に没頭できる環境を構築



【課題1】
社会・経済活動の維持

【課題2】
感染症の予防と治療

【課題3】
医療崩壊の阻止

課題解決に向け、大阪大学に感染症総合教育研究拠点を構築 (2021年4月設置)

日本財団・大阪大学 感染症対策プロジェクトを始動 (2021年9月)

【アクションプラン 1】
情報発信・リテラシー向上

科学的エビデンスに基づいた
信頼性の高い情報発信

- 政策分析と提言、情報発信(日英)
- オンライン情報配信(年10回)
- 公開市民講座(毎年)



【アクションプラン 2】
感染症研究基盤構築

予防、診断、治療等の迅速な開発と
普及のための基礎研究成果の創出

- ヒト生体防御システムの基本原理の解明
- 病原微生物に対する免疫応答機構の解明
- 病原微生物の基礎研究とその制御法の開発

感染症克服に向けた分野横断型研究
(知のプラットフォーム:オール阪大研究)

【アクションプラン 3】
医療人材育成

医療従事者等の教育訓練や
感染症対策リーダー育成

- 医療従事者等1万人への教育訓練等
- 若手医師育成海外実習等(毎年)
- 感染・免疫国際フォーラム(毎年)
- 最先端免疫学国際シンポジウム(毎年)



【アクションプラン 4】

世界最高水準の研究基盤/異分野の専門家が集う研究棟を整備

—「知」がクロスし、積極的な情報発信をする国際拠点構築—

2025年2月末竣工予定

経営基盤(共創を中核に据えた経営体制の構築)

共創を中核に据え、未来への先行投資と
基盤の深化の両輪を回す経営を確立



共創活動のレベルアップ

3-1 社会との共創活動の推進
による「知」「人材」「資金」
の好循環拡大

3-2 社会課題から画期的な
教育・研究成果を生み出す
機能の強化

OUエコシステムにおける
新たな課題を社会から教育研究
活動にフィードバックする機能

3-3 附属病院における革新的
医療の開発・提供と安定的
経営

教育・研究・業務システム改革

3-4 大学の戦略に基づいた最適な
資源配分スキームの構築と
部局を後押しする活動支援

3-5 大学の戦略を実現する
財務基盤の強化

3-6 ガバナンス体制の強化と
コンプライアンス遵守・
リスク管理の徹底

3-7 先進的な戦略・取組の実行
を担う事務組織の高度化

3-8 安全かつ快適で持続可能な
キャンパスの整備促進

キャンパスの脱炭素化!



OUエコシステムに基づく共創活動のレベルアップ

未来社会共創コンソーシアム

産学共創のさらなる強化とオープンイノベーションの深化・拡大を目的とし、
課題探索段階から大阪大学と企業等が共に議論し、

課題解決に向けた産学共創プロジェクトを企画提案する新たな仕組みとして令和2年4月に始動。

1研究者と1企業の共同研究では解決できない課題に対し、複数研究者、さらには複数企業が分野や
セクターを超えて参画する産学・産産連携型の共同研究プロジェクトの企画提案等を行うことも可能。

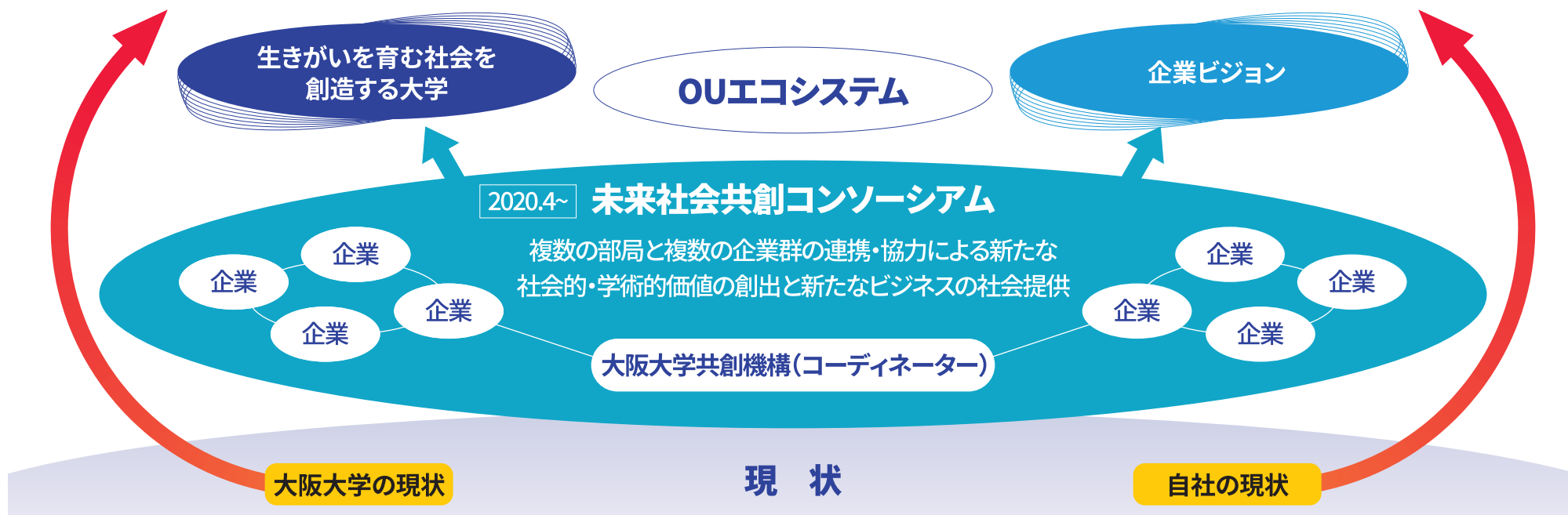


未来社会像

長期的視野

大阪大学の将来のあるべき姿

自社の将来のあるべき姿



大学が持続的に成長する自律的な経営体制の構築

全学的なマネジメントの下、将来構想の実現に向けた成長のサイクルを回すとともに
ステークホルダーとの双方向の対話を促進し、社会からの共感を獲得



教育・研究・大学経営を支える新たな情報基盤の構築

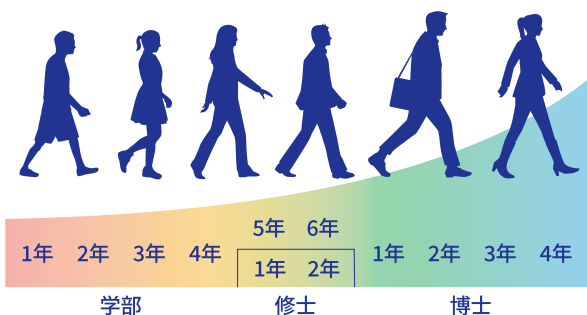


4-1

ブレンデッド教育※を支える 学修環境の高度化 (DX in Education)の実現

- 入学前から卒業後に至るまで
一貫した学修データの蓄積
- 学修状況の可視化
- 情報インフラの整備

※対面とオンラインの学習活動を効果的に組み合わせた
カリキュラムおよび授業形態



4-2

研究活動のフルオンライン化を 可能とするeResearch (DX in Research)環境の整備

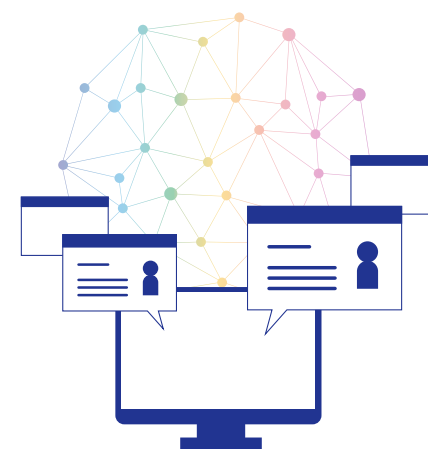
- 研究・実験機器のDX化
- 研究データ集約管理基盤ONION
の整備
- 研究データの公開
- 公開データの活用・集約・管理



4-3

戦略的な大学経営を支える DX in Managementの実現

- 阪大全構成員のデジタルID導入
- デジタル化による
学生サービス向上、効率化
- 経営判断に資するデータ把握
- 自律的なデータ活用の促進



研究遂行の全てのプロセスを オンラインでサポートするデジタル技術の導入

研究企画
・立案

文献検索
・動向調査

研究実施
(調査・実験
分析等)

論文執筆

成果公表
(Open Access
Open Data)

アウトリーチ

研究評価



- シームレスなアクセス環境
- 研究成果の世界発信
- データ駆動型研究の推進
- 研究不正の防止、強靱なセキュリティ

豊かな時間の創出

世界規模の課題に立ち向かう グローバル人材の育成と学術研究の推進

5-1

優秀な留学生の受入れと
本学学生の海外派遣を通じた
Diversityの向上と
グローバル人材の育成

積極的な留学生リクルート及び
海外研修の多様化とオンラインを
活用した新たな留学システムの構築

5-2

卓越した学術研究の
グローバル展開

海外有力大学との組織的
連携による学術研究の推進

5-3

グローバル連携による
社会課題への挑戦

世界的な社会課題への挑戦、
現地でのキャンパス展開、
ニーズに応える高度人材育成

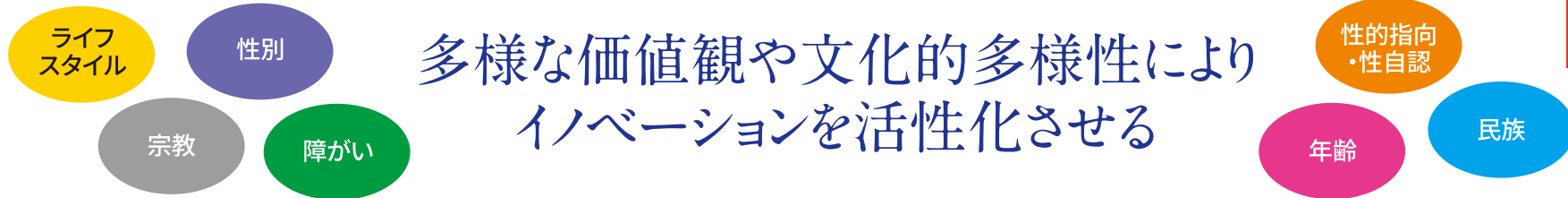


5-4

全学規模のグローバル展開に向けた推進体制の強化

国際連携の司令塔であるグローバルイニシアティブ機構が全学の戦略を推進!

多様な人材が輝くキャンパスの実現 (Diversity & Inclusion)



5-5

**アンコンシャスバイアス克服
による女性高度人材の育成**

学部段階からの女性高度人材の育成、
意識改革の実施



5-6

**女性研究者の研究力向上に
向けた環境整備**

女性研究者の研究活動の円滑化
ダイバーシティを考慮した研究領域の開拓



5-7

**InclusiveでWell-beingな
キャンパス環境創出の促進**

多様性を受容・包摂する
学内環境の整備



本学で働くすべての教職員が 働きがいや幸せを実感できる環境を構築

6-1

多様な働き方を促進し、個々人が輝ける場の構築による豊かな時間の創出

ソフト面とハード面の両方から環境を充実

事務・事業の見直し、効率化

- 業務フローの見直し・集約化
- ICTの活用・ペーパーレス化
- 大学の戦略に必要な機能強化を踏まえた適正な人員配置・配分計画策定、実施



働き方・働く場所の弾力化

- 在宅勤務制度の更なる拡充
- 安全な情報セキュリティを維持しながら在宅勤務が実現できる環境の整備



快適で魅力あるオフィス環境の整備

- 新たなオフィスレイアウト、フリーアドレス型の活動スペースの導入



各教職員の役割の明確化、適切な評価と処遇への反映

- 事務職員の新キャリアパス制度の実装、教員業績評価制度・役割分化制度の活用等により、各職種の特性に応じた評価を実施



社会との共創を醸成し、活性化させるブランディングの展開

ステークホルダーとの信頼関係を構築し、阪大ブランドを展開

7-1

地域・社会・市民との共創を支えていくブランドの醸成

OUグローバルキャンパスの活用やミュージアム・リンクス、21世紀懐徳堂などによる社会学アウトリーチ活動

OUグローバルキャンパス

令和3年
箕面新キャンパス
の開設



市の生涯学習センター、文化ホール、図書館との効率的な運用

ミュージアム・リンクス 21世紀懐徳堂



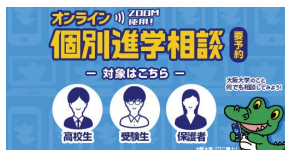
地域・市民との
知の共創活動

社会学アウトリーチ活動の総合的展開

7-2

阪大ブランドに係るパブリック・リレーションズ(PR)の展開

受験生を対象としたマーケティングに基づいたPR、優秀な研究者が関心を寄せる戦略的なPRなどの展開
社会に対するインパクト等を戦略的に発信する体制の構築



社会との共創によるグリーン・リカバリーの推進

材料研究でカーボンニュートラル社会の実現に貢献



触媒科学で炭素循環

- ・実験とAIを融合した次世代太陽電池の開発
- ・人工光合成のための金属錯体触媒の開発
- ・家畜ふん尿のバイオガスからメタノールを製造
- ・海に還るバイオマスプラスチックの開発



社会変革につながる
基礎研究・人材育成

企業等と連携し、全学に
講義「カーボンニュートラルと
私たちの未来」を提供

教育研究成果の
社会実装

OUエコシステムによって
大阪大学が
カーボンニュートラルの
ブレークスルーを実現

教育研究テーマの
深化

キャンパスを
社会実装の場に

学内連絡バスへの
電気バスの導入を
通じた実証実験



社会からの課題の
フィードバック

人文学・社会科学の知を
活かして社会の仕組みを創造

フューチャーデザイン

将来世代を考慮して持続可能な意思決定を
導くための社会の仕組みをデザイン



大阪大学のCO₂削減取組

【目標】

大阪大学全体の
温室効果ガス排出量
2030年度までに
55%以上削減

※2013年度比



箕面キャンパスがLEED-NDゴールド認証取得

大学キャンパスとして初

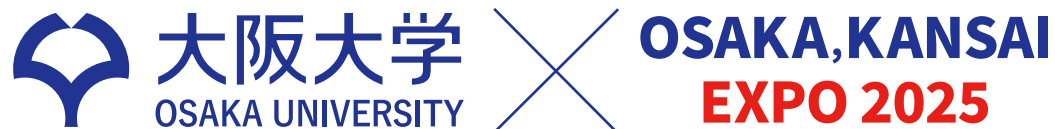
キャンパスの
ZEB Ready化を推進!



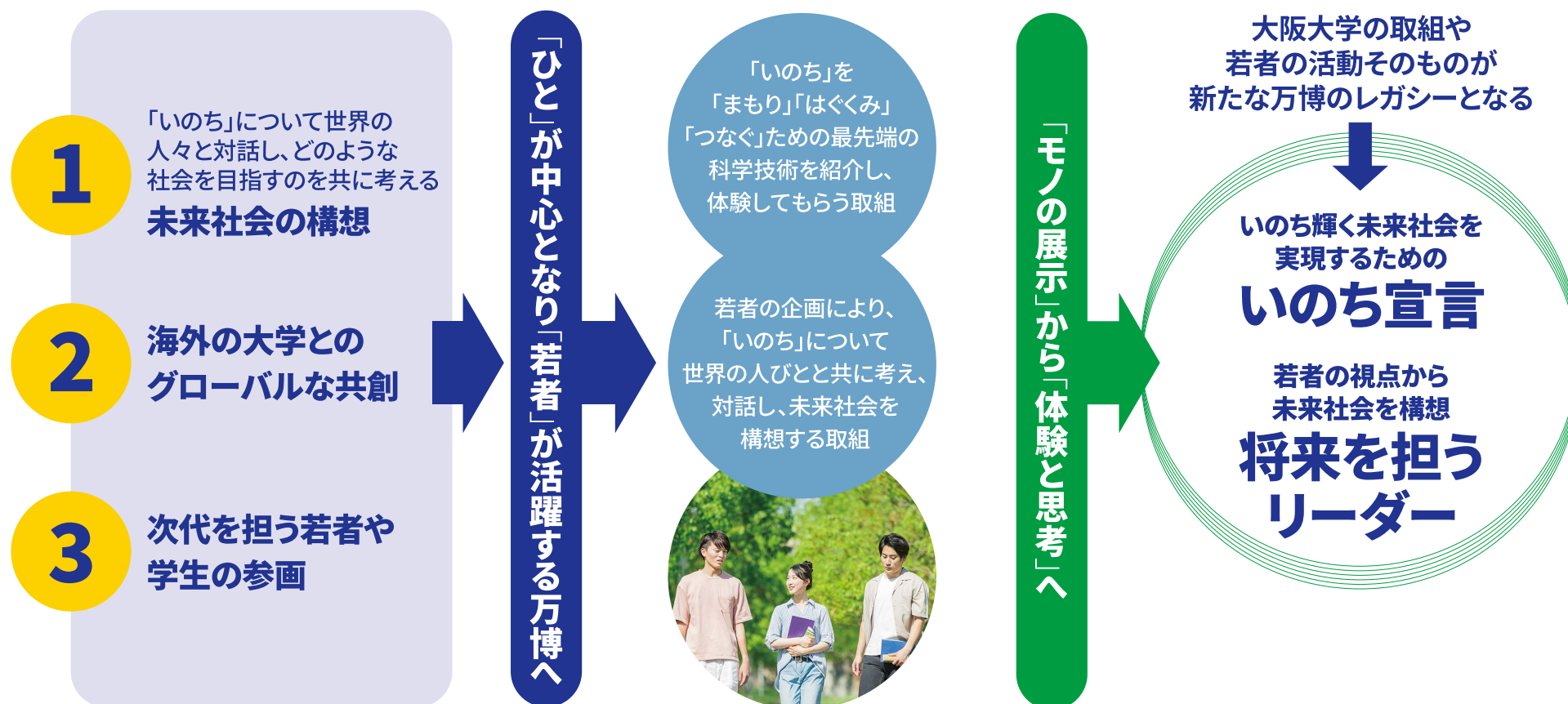
国内大学初のZEB研究棟(薬学研究科・薬学4号館)

2021年10月認証取得

2025年大阪・関西万博へ向けた具体的な取組



本学の研究成果や知識の提供



社会を変革し、 誰もが生きがいを感じられる社会へ

大阪大学は、社会の皆様と共に
「生きがいを育む社会」を創造するための
挑戦的な一歩を踏み出していきます。

OU

MASTER PLAN

2027

＜OUマスタープラン2027に関するお問合せ先＞

国立大学法人大阪大学 企画部

経営デザイン課 経営企画係

Tel: 06-6879-7176

E-mail: ki-keiei-kikaku@office.osaka-u.ac.jp

www.osaka-u.ac.jp

